

景気ウォッチャー調査・近畿地域結果(平成27年4月)

～現状判断DIは5ヶ月連続で上昇～

- 景気ウォッチャー調査・4月調査の近畿地域の結果は、現状判断[方向性]が5か月連続で上昇し、先行き判断も上昇となった。
- 足元の状況については、月前半の悪天候などがマイナスにはたらいたものの、インバウンド関連の好調が続いていることや、株高による高額消費の好調などが主な要因となり、DIが若干上昇したとみられる。
- 一方、消費増税の影響に関しては、全体としては緩やかな回復が進んでいるものの、依然として厳しい声が聞かれる。
- 先行きは、賃上げによるプラス効果に期待する声が多いほか、インバウンド関連の好調も続くともみられる一方、諸物価の上昇に対する懸念の声も依然として多く、DIは若干上昇したものの、方向感が定まりにくい状況に変化はない。

「賃上げ」関連のコメント(先行き判断)

家計動向関連	やや良くなる	百貨店(外商担当)	・企業の賃上げや株高が続いていることから、今後は更に消費マインドが改善し、高級海外ブランド品や美術品などの売上が増加する。
		スーパー(店長)	・株価の上昇や大手企業の賃上げの影響が、街角景気にも徐々に波及しつつある。
		スーパー(経理担当)	・賃金の上昇や賞与の増加、株高効果などにより、消費マインドは確実に上昇していく。節約する場面では引き続き厳しく節約するものの、ハレの日や行楽などのイベントを中心に、積極的にお金を使う場面も増加していく。
		スーパー(企画)	・春の賃上げ効果が本格的に出てくる5月以降の月給や、ボーナスの増加分が消費に回るかがポイントである。少なからず消費意欲は高まるはずであり、すべてが貯蓄や預金へ回るとは思えないが、投資や消費拡大の足掛かりとなしてほしい。
		スーパー(社員)	・従来のような販促に頼らなくても、安全性や素材をしっかりとアピールした商品や売場は売上がアップしている。今春から正社員やパート社員の賃金が増える傾向もはっきりしてきたため、客の余裕のある購買につながり、好調が当面は続きそうだと実感している。
		乗用車販売店(経営者)	・ベースアップの効果や、夏期賞与の増加が期待される。
		乗用車販売店(販売担当)	・各企業におけるベースアップなどの影響もあり、期待も込めて良くなる。
		テーマパーク(職員)	・昇給やボーナスの増加など、消費を刺激する要素が夏前まで続くほか、アルバイトが買手市場から売手市場に変わるなど、景気にプラスとなる要素が確実に増えてきている。
		その他サービス[コインランドリー](経営者)	・周囲では中小零細企業に勤めている人が大半であるが、賃上げがあった話をよく聞く。数年前までは耳にすることがなかった話である。
		その他住宅[情報誌](編集者)	・好調な企業業績に伴って賃上げ気運が更に高まる。低金利の環境が継続するという前提で、引き続きマンション市場はやや良くなる。
変わらない	変わらない	百貨店(商品担当)	・株価が堅調に推移すれば、宝飾品や時計、特選雑貨などの高額品は安定的な動きとなるが、全体の賃金上昇がどこまで消費に結びつかかは、かなり疑わしい。
		スーパー(経営者)	・企業の業績好転の発表に伴い、ベースアップや夏の賞与にも期待できそうである。生鮮品の相場高を客が受け入れ、引き続き堅調に推移することが予想される。ただし、ドラッグストアも含めたライバルの出店ペースは落ちることなく続いており、加工食品類や菓子類などの価格は、値上げ後も実勢ペースではあまり上昇していないため、利益の圧迫要因となる。
		スーパー(開発担当)	・大阪の中小企業の賃上げは見込めない一方、徐々に食料品などの値上げが進む。
		その他飲食[コーヒーショップ](店長)	・企業収益は好調と報じられているが、ベースアップを行った大企業と比べて、当社では給与増に全くつながっていない。
企業動向関連	変わらない やや悪くなる 悪くなる	化学工業(企画担当)	・給与所得面での顕著な改善がない限りは、個人消費が増えるような状況にはならない。
		その他製造業[履物](団体職員)	・アベノミクスの効果による株価の上昇や、輸出企業を中心とした大企業の賃上げ、過去最高益など、景気の良い話題は出ているが、中小企業まではその恩恵が届いていない。
		その他非製造業[衣服卸](経営者)	・当面は大企業のベースアップや昇給、中小企業での賃金アップに期待したいが、大きく状況が変化するとは考えにくく、販売数量が増加するとは思えない。その一方、円安の定着化によるコストアップも吸収できない状況であり、輸入企業の倒産やリストラが加速するため、景気の腰折れにつながる懸念される。政府にはバランスの良い経済政策を求めたい。
雇用	くやなる 良くなる	金属製品製造業(営業担当)	・人手不足のため、賃金のベースアップに踏み切らざるを得ず、更に収益が悪化することが懸念される。
		人材派遣会社(役員)	・企業が人材の確保に動いているため、競争によって賃金は上昇していく。今後、人材の確保に成功した企業の景気は良くなるが、企業間格差は拡大すると予想される。

(DIの推移)



(近畿地域のDI)

		年 13				14				15																
		月 4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
現 状 判 断	近畿	59.6	58.7	54.9	53.2	51.4	54.6	52.8	55.8	56.1	55.6	56.3	60.8	43.6	45.9	47.9	51.4	49.3	49.4	47.0	45.4	47.6	47.8	53.3	54.6	54.9
	(全国)	56.5	55.7	53.0	52.3	51.2	52.8	51.8	53.5	55.7	54.7	53.0	57.9	41.6	45.1	47.7	51.3	47.4	47.4	44.0	41.5	45.2	45.6	50.1	52.2	53.6
先 行 き 判 断	近畿	59.6	58.1	53.5	52.9	52.3	55.9	57.7	58.5	57.3	49.9	42.0	36.0	51.4	54.1	54.5	51.9	51.9	51.5	50.0	48.2	48.6	51.6	55.5	55.5	56.1
	(全国)	57.8	56.2	53.6	53.6	51.2	54.2	54.5	54.8	54.7	49.0	40.0	34.7	50.3	53.8	53.3	51.5	50.4	48.7	46.6	44.0	46.7	50.0	53.2	53.4	54.2